

コロナ禍の克服、そして未来輝く さいたま市を目指して!!



新型コロナウイルス感染症の第6波はやや下火になりつつあるようですが、しかしまだにコロナの終息は見えない状況が続いております。

コロナ禍により、私たちの社会は大きな影響を受けております。このコロナ禍から、市民の健康と生命、そして暮らしを守り、経済を守るため、私たち公明党さいたま市議会議員団としても、市民の皆様の声を聞きながら、コロナ禍が始まった令和2年から今日まで、計11回におよぶ緊急要望をさいたま市に提出しました。そして、議会でも質問などで取り上げながら、それらの実現を図ってまいりました。

また、今年2月1日(火)から3月11日(金)の会期で開かれたさいたま市議会2月定例会では、令和4年度当初予算への審査がおこなわれました。私たち公

明党市議団としても、コロナ禍の克服とさいたま市の未来をつくるための重要な予算として、この予算審査にのぞみました。

これまで私たちが主張し、提案してきたさまざまな政策が、今回の予算には具体的な事業として盛り込まれておりますので、その詳細については次ページ以降でご紹介してまいります。

これからも、市民お一人お一人に寄り添って声を聞きながら、その声を議会に反映させて、実現を目指してまいります。そして、一日も早いコロナ禍の克服と、未来輝くさいたま市をつくるために、公明党市議団一同、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご意見・ご要望をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

公明党さいたま市議団の提案・要望が反映された

新型コロナウイルス感染症への対策

- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を適時適切に実施



- PCR検査等にかかる費用の公費負担およびPCR検査の一部を民間検査機関に依頼

- 新型コロナウイルス感染症患者等の入院受け入れをおこなった医療機関に補助金を交付



- 自宅療養患者に対する医療提供体制を強化するため、訪問看護をおこなう指定訪問看護ステーションに補助金を交付



- 酸素濃縮装置を整備し、自宅療養中の新型コロナウイルス感染症患者に対して酸素投与を実施

- 自宅療養患者に対し、パルスオキシメーターや食料品を配送



子育て支援および教育環境の拡充

- 妊娠・出産包括支援センターの相談体制の拡充および産婦に対する健康増進や母子への支援充実を図るために産後ケア事業を実施



- ひとり親家庭への訪問相談事業を実施

- 子育て全般に関する相談や児童等への必要な支援を実施する子ども家庭総合支援拠点を全10区に設置

- 子育てヘルパー派遣事業について既存の事業に加えて、多子世帯の子育てを支援するため、対象世帯への子育てヘルパー派遣回数拡大

- 保育需要の受け皿拡大および保育人材の確保のため、多様な保育の受け皿を確保するとともに、保育士確保のための支援を拡充



- 医療的ケアを必要とする子どもの受け入れ

体制を拡大するため、看護師配置による受け入れ施設に対して補助を実施

- 放課後児童クラブにおける待機児童解消のため、民設クラブの委託実施基準の見直しをおこなうなど、クラブの安定的な運営を支援することにより入所児童数を拡大

- 「不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth、グロース）」を設置し、ICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施



- 新たにすべての市立小学校および特別支援学校に大型提示装置（プロジェクタ）を導入し、すでに整備した児童生徒一人一台端末の効果高めるとともに、教育データ可視化システムの設計等を実施



- ひまわり特別支援学校に新たに知的障害教育部門高等部の設置準備を実施（開設は令和5年4月を予定）

令和4年度予算における主な事業

自然災害への対策強化

- 浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、準用河川・排水路等（新川、黒谷川ほか）の整備や、雨水管および雨水貯留施設等の整備を推進



- 罹災証明書交付のさらなる迅速化を可能とする罹災証明書発行業務のデジタル化を推進



無電柱化



- 防災上の重要な道路、バリアフリー経路および

駅周辺などの歩行者の多い道路について無電柱化を推進

- 防災アプリを本格的に運用開始



- 災害時に避難所となる中学校体育館へのエアコン設置工事および設計の実施



高齢者・障がい者支援および福祉の充実

- 「福祉まるごと相談窓口」を全10区に設置し、生活困窮をはじめ福祉の複合的な課題を抱えている方に対して包括的に対応



- ケアラー・ヤングケアラー啓発事業により、ケアラーに対する社会的認知度や理解の向上を図るとともに、市民、事業者、関係機関等への周知啓発を実施



- シルバーポイント（長寿応援ポイント）事業およびアクティブチケット交付事業を引き続き実施し、65歳以上の高齢者の健康や生きがい作りをサポート



- 障がい者の相談支援体制を充実・強化するため、生活支援センターを各区に配置するとともに、基幹相談支援センターを追加で整備し、相談支援事業者に対する専門的指導・助言、人材育成等を実施



- 生活困窮世帯の小中学生および高校生等を対象に、基礎学力向上や大人とふれあう居場所の提供等を目的とした学習支援の実施



公明党さいたま市議団の提案・要望が反映された 令和4年度予算における主な事業

市民の利便性向上と健康づくり

- 全ての区役所、支所等にキャッシュレス決済による交付窓口を拡大すると共に、保育料・介護保険料等への拡充を予定



- 誰でも即時に携帯端末から道路損傷箇所の情報を通報できるよう、道路通報システムを構築

- タブレット端末を用いて、手話通訳者が不在の区役所においても遠隔による手話通訳を提供



- 拠点公民館にWi-Fi通信環境を整備するとともに、タブ



レット等を整備し、スマートフォン講座等の実施や利用団体の学習活動を支援

- 区役所内における死亡の手続きをワンストップで一体的におこなう(仮称)おくやみコーナーを設置

- 運動習慣獲得に向けて、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージの推進

- 高齢者に対して必要な医療・介護サービスにつなげるため「住民主体の通いの場」等での健康教育・健康相談等をおこない、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施



未来に向けて住みやすいまちづくり

- 脱炭素社会の実現に向け、エネルギー地産地消の推進体制を構築するとともに、再生可能エネルギー等の導入拡大のため、脱炭素先行モデル事業の調査・検討を実施



- AIやIoTなどの技術を活用するとともに、「共通プラットフォームさいたま版」の分野間・自治体間連携をおこないながら、民間事業者による新たな生活支援サービス等の実証や社会実装をおこない、スマートシティさいたまモデルを推進



- 交通空白地区や交通不便地区等の利便性向上を図るため、岩槻区でのAIデマンド交通の分析・検証や桜区等における展開検討を実施

- 大宮駅周辺地域戦略ビジョンのターミナル街区におけるまちづくりの具体化を図るため、

大宮駅グランドセントラルステーション化構想および大宮GCSプラン2020にもとづき、大宮駅の機能高度化、交通基盤整備、駅周辺のまちづくりの事業化に向けた検討を実施



- 地下鉄7号線延伸に向けた課題解決のための調査や協議を実施するとともに、中間駅周辺のまちづくりを検討

- 新大宮上尾道路の事業化区間の早期完成と、圏央道までの未事業化区間の早期事業化を目指し、関係機関への要望活動を実施するとともに、国が整備する経費の一部を負担

- 文化芸術推進体制を強化を図るため、専門人材による調査研究や芸術活動支援および文化発信プロジェクトなどの事業を実施するアーツカウンシルを創設